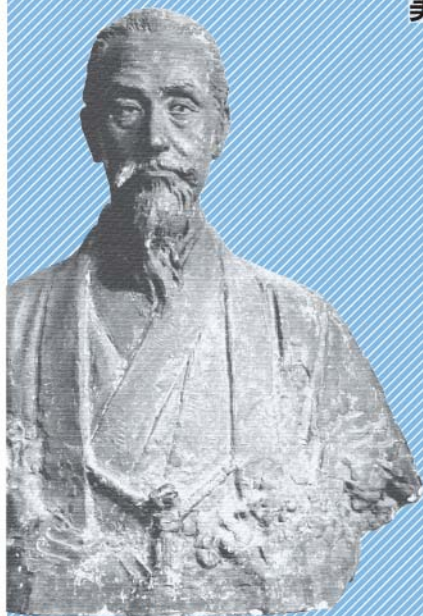


# 消えた胸像 を追って

幸野 棗 嶺 像 と  
美工の彫刻家たち



2014.

7.5 土  
-8.8 金

京都市立芸術大学  
芸術資料館

| 休館日 | 毎週月曜日 | 観覧料 | 無料  
| 開館時間 | 9時～17時 (月曜休館)  
※月曜祝日の場合翌火曜日休館

| 主催 | 京都市立芸術大学  
京都市立芸術大学芸術資料館  
京都市立芸術大学芸術学研究室  
| 企画 | 京都市立芸術大学芸術学研究室  
修士2年 薮川夏樹 / 修士1年 古田理子

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

幸野 楳嶺  
 畫廊 教授 必仕ラシ  
 理ヲ 囑任ス  
 紙屑手當金拾圓五匁  
 明治十一年四月廿日  
 京都府



#### 幸野楳嶺像

幸野楳嶺 (1844-1895) は江戸時代末から明治初期にかけて活躍した京都の日本画家です。竹内栖鳳 (1864-1942) をはじめとする数多くの画家を育て、とりわけ教育者としてその手腕を発揮した人物であり、京都府西学校の設立は明治以降の京都の美術教育の基礎として現代まで引き継がれています。「消えた胸像」は、そんな楳嶺を慕う多くの画家たちの専行によって建てられました。

#### 美工の彫刻家たち

京都最大の彫刻家たちは関西の彫刻界において重要な役割を果たしてきました。本学の教員として胸像制作に携わった北村西望 (1884-1987) と辻曾堂 (1910-1981) を中心に、本学にまつわる彫刻家の足跡を明治期から昭和初期にかけてたどります。彫刻科の設立に寄与のちに美術史家としての名を預した大村西崖 (1868-1927) の本彫作品、北村西望と同時期本学で学んだ木惣家の石本義隆 (1888-1935) や公共彫刻を多く残した横江嘉純 (1887-1962) の作品もあわせて紹介します。

#### ギャラリートーク

7月29日(火) 12時10分~12時40分

京都市立芸術大学芸術資料館

企画担当者による展示資料の解説会を開催します。

2014.7.5(土)-8.8(日)

京都市立芸術大学 芸術資料館

〒610-1197 京都市西京区大槻番町13-6

TEL (075) 334-2232 FAX (075) 333-8533

WEB <http://w3.koa.ac.jp/muse/>

展、北村西望《京都府立西学校》昭和13年(1942)

1. 竹内栖鳳《中野楳嶺自画像》明治13年(1882)

2. 竹内栖鳳《中野楳嶺》明治26年(1905)

3. 幸野楳嶺《福太郎(幸野楳嶺自画像)》明治13年(1882)

4. 大村西崖《幸野楳嶺自画像》(幸野楳嶺自画像) 明治27年(1892)

5. 大村西崖《大村西崖》昭和24年(1949)

6. 石本義隆《石本義隆》昭和15年(1940)

## 消えた胸像を追って

幸野楳嶺像と美工の彫刻家たち

京都市立芸術大学は明治13年に京都府西学校として創立され、その後京都市立美術工芸学校(美工)、京市立絵画専門学校(絵専)など変遷・発展をかさねてきました。本学構内には、京都府西学校の設立に尽力した日本画家 幸野楳嶺(こうの・ばいれい)の胸像が置かれています。しかしこの像は彫刻家 辻曾堂の手による2代目のものであり、元の胸像は第二次世界大戦中の金属供出によって失われてしまいました。幸いなことに、本学資料館には昭和15年に彫刻家 北村西望によって作られた幸野楳嶺像の石膏原型が今も残されています。本展覧会ではこの「消えた胸像」を起点に楳嶺その人と本学との関わりを絵手本等の西学校関係資料からふり返るとともに、胸像の作者でもあった京都市立美術工芸学校にまつわる彫刻家たちの足跡をたどります。



【アクセス】京都市バス(西門線)C1のりばから西京駅西口徒歩2・14・28分  
 西京線西京駅、西大宮下車、C3のりばからバス7分  
 西京線西京駅、西大宮下車、徒歩約10分  
 7. 新橋口(バス)西門線から西京駅西口徒歩2・14・28分  
 西京線西京駅、西大宮下車、徒歩約10分  
 7. 新橋口(バス)西門線から西京駅西口徒歩2・14・28分  
 西京線西京駅、西大宮下車、徒歩約10分